

第3回協議会(書面開催)での意見について

	意見	対応
1	<p>・サイクルスポーツ振興の推進 レンタサイクルステーションにクロスバイクやタンデム自転車など、様々な種類の自転車を配備し、サイクルスポーツへの関心を高める。年齢や性別、体力レベルに関係なく、誰もが気軽にスポーツバイクに親しめるよう普及促進を図る。</p> <p>・「ふじいでんこうさいくるらんど」の啓発、活用</p>	<p>→P50施策⑦の取組内容でも、サイクルステーション2箇所、レンタル事業が行われていると明記している。実際、2箇所のサイクルステーションでクロスバイクや、ロードバイクのレンタルを実施している。また、現時点でタンデム自転車のレンタルはないが、タンデム自転車を含め将来的に様々な種類のレンタサイクルの導入を視野に入れることは、今後の検討課題とし、取組として具体的に明記はしない。</p> <p>→P50施策⑦の取組内容にコメントを追加する。 「●播磨中央公園内の「さいくるらんど」をPRし、自転車の魅力を発信することで、幅広い年齢層に自転車に親しんでもらう場を提供します。」</p>
2	<p>・観光面で、車で来られた方がサイクリングを楽しむ場合の拠点整備が必要。</p> <p>・道路が他市町ともつながっていて、連携する内容の記載がないが、北播磨としてのPRは必要ないのか。</p>	<p>→P49施策⑤の取組内容中、「●必要に応じて案内看板、サイクルスタンド等の整備を進めます。」と明記している。ここに拠点整備も含めている。</p> <p>→P49施策⑤の取組内容にコメントを追加する。 「●隣接市域と連携し、広域的なサイクリングルートを検討します。」</p>
3	<p>・P36・38の図表について。 表中の「ぶつかりそうになる」「車の走行マナーが悪い」と「道路幅が狭い」「段差」などの意見はハード面・ソフト面が混在しわかりにくい。ソフト面の意見を除外するか、ハード・ソフトの意見を別々にまとめる方が分かりやすい。</p> <p>P41のまちづくり欄の課題について 道路標識の認知度に関しては、外国人を特化して記載しなくてもよいのでは。</p> <p>・P40の交通安全欄の課題について。 自転車損害保険の加入は、兵庫県民局単位別みると最も加入率が悪い56.8%。加入促進が課題であるため、項目に入れるべきでは。</p> <p>・P42の基本方針4について。 基本施策の⑨⑫はどちらも交通安全教室の実施であり、対象が⑨が高齢者・外国人、⑫が小中学生である。一本化してはどうか。</p>	<p>→ハード面のみ意見を反映した表及び図面に変更する。</p> <p>→少数派ではあるが、道路標識を認知していない外国人があり、施策③の取組内容にも「●外国人を含めた全ての人にわかりやすい道路の案内標識を設置します」を追記するため、課題として明記する。</p> <p>→コメントを追加する。 「・自転車賠償保険加入は義務のため、加入促進が求められる。」</p> <p>→一本化する。</p>

	<p>・P45の自転車道ネットワーク整備形態について。</p> <p>①矢羽根型路面表示は、法定外表示であるが、交通の安全確保の観点から、大型自動車が矢羽根型路面表示上を通行することなく、かつ、大型自動車が自転車の側方を通行する際に中央線をはみ出して進行することがないように道路の拡幅を実施した上で、施工する必要がある。また歩行者が安全に通行できるだけの道路幅員の確保が必要。</p> <p>②自転車歩行者道は、道路構造令で歩行者の交通量が多い道路は4m、その他道路は3mと定められているが、公安委員会の普通自転車歩行通行可の規制基準も3m以上の歩道であることから、これを踏まえた歩道整備の検討が必要。</p> <p>③サイン表記は、公安委員会の道路標識については英語表記のものに適宜変更している。その他の外国語標記はないので、道路管理者で必要なサイン表記の設置をお願いする。</p>	<p>→ガイドラインに基づき、適正な車道及び歩道幅員を確保する。</p> <p>→P47施策③の取組内容にコメントを追加する。 「外国人を含めた全ての人にわかりやすい道路の案内標識を設置します。」</p>
4	<p>P26について。 サイクルステーションは何かという説明は。</p> <p>P42の施策⑤について。 市内の観光地を巡りながら一周できる距離で幅広い層（自転車を持たないユーザーからベテランまで）が楽しめるルートの整備することで、観光交流人口の増加や地域経済への波及が見込まれる。</p>	<p>→コメントを追加する。 「サイクルステーションとは・・・自転車を楽しむサイクリストの方々に向けて、休憩スペースや飲み水・サイクリング情報を提供する施設のこと。」</p> <p>→P49施策⑤の取組内容にコメントを追加する。 「●市内の観光資源を活かし、気軽に市内を周遊できるコースを検討します。」</p>
5	<p>・P45の自転車道ネットワークの図面について・ 図面が小さく場所がわからないので、拡大図を別図で追加すべきでは。(特に③と⑤がどこかわからない。)</p> <p>凡例にある赤実線とピンク点線及び黄色実線と黄色点線の違いがわからない。</p> <p>⑥については、市道全域のサイン設置は、P44～45に記載するのではなく、施策③に記載した方がよいのでは。</p>	<p>→拡大図を追加する。</p> <p>→コメントを追加する。 実線は既存路線、点線は新規路線であるため、赤色及び黄色点線の注釈に「(新規路線)」を追加する。</p> <p>→P44、45の⑥の欄を削除し、P47施策③の取組内容にコメントを追加する。 「●外国人を含めた全ての人にわかりやすい道路の案内標識を設置します。」</p>
6	<p>P45<当面の自転車通行空間の整備形態>について。</p> <p>・整備形態を決めて記載するのであれば、幅員構成を確認し、自転車が安全に走行するだけの幅員が必要。</p> <p>・実施の段階で整備形態を変更できるように、注釈として「整備形態は整備実施の段階で利用状況等を踏まえ再検討する。」といった記載を追記しておく方法もある。</p> <p>P24、49のひょうごサイクリングモデルルートについて。 ひょうごサイクリングモデルルートで、東条から吉川の山田錦の郷までの往復が追加となることにより、全長距離とマップのルート追加となる。</p>	<p>→歩行者、自転車、車が並列走行しても安全が確保できる幅員を確保する。</p> <p>→表の下にコメントを追加する。</p> <p>→追加、修正する。</p>

7	<p>P17の自転車交通量データについて。平成22年や平成27年のセンサスデータを利用しない理由は。</p> <p>P27のサイクリングイベントの開催状況について。近年のイベントの開催状況(開催日、参加者等)を示しては。</p> <p>P30の交通安全教室について。近年の交通安全教室の開催状況を示しては。</p> <p>P40のまちづくりの現状について。「本市の自転車分担率は低い水準にある。」とあるが、全国的なものか、県内のものか。</p> <p>P40課題と取組内容の整合を図る。</p>	<p>→平成22年以降は自転車のデータなし。</p> <p>→明示する。</p> <p>→明示する。</p> <p>→「県内では」を追加する。</p> <p>→整合を図る。</p>
8	<p>P18の駐輪場について。神姫バス車庫前は記載しないのか。</p> <p>P42の基本理念について。基本理念「安全で快適な通行空間の確保と豊かで活力ある地域づくり」→「安全で快適な自転車通行空間の確保と<u>自転車を活用した</u>豊かで活力ある地域づくり」に修正してはどうか。</p> <p>P44以降、各施策の担当部局を記載しておかないと進捗確認ができないのでは。数値目標も必要ではないか。</p>	<p>→追加する。</p> <p>→修正する。</p> <p>→担当部署を追加する。また、数値目標は、ソフト的な取組事項も多く、数値化するのが困難であるため省略する。</p>